

うじたわら

議会だより

No. 95
2018.5.1



《目次》

定例会.....	2p~7p
表決結果.....	8p~9p
一般質問.....	10p~21p
住民と議会の懇談会.....	22p
インタビュー(内藤真理子さん).....	23p

＝うぐいす幼稚園入園式＝

新入園のお友達も舞台に。ちよつ
ぴり緊張ぎみのデビューでした。

過去最大 53億3,800万円 **可決**

定例会

平成30年第1回定例会は、3月5日から29日まで開催した。予算関係12件（補正予算6件、当初予算6件）、条例関係15件（制定2件、改正13件）、一般議案11件、人事案件1件が提出され、すべて原案通り可決・同意した。また、意見書1件は、否決した。

当初予算については、予算特別委員会において慎重に審査した。一般質問には11人の議員がたち、活発な議論を展開した。

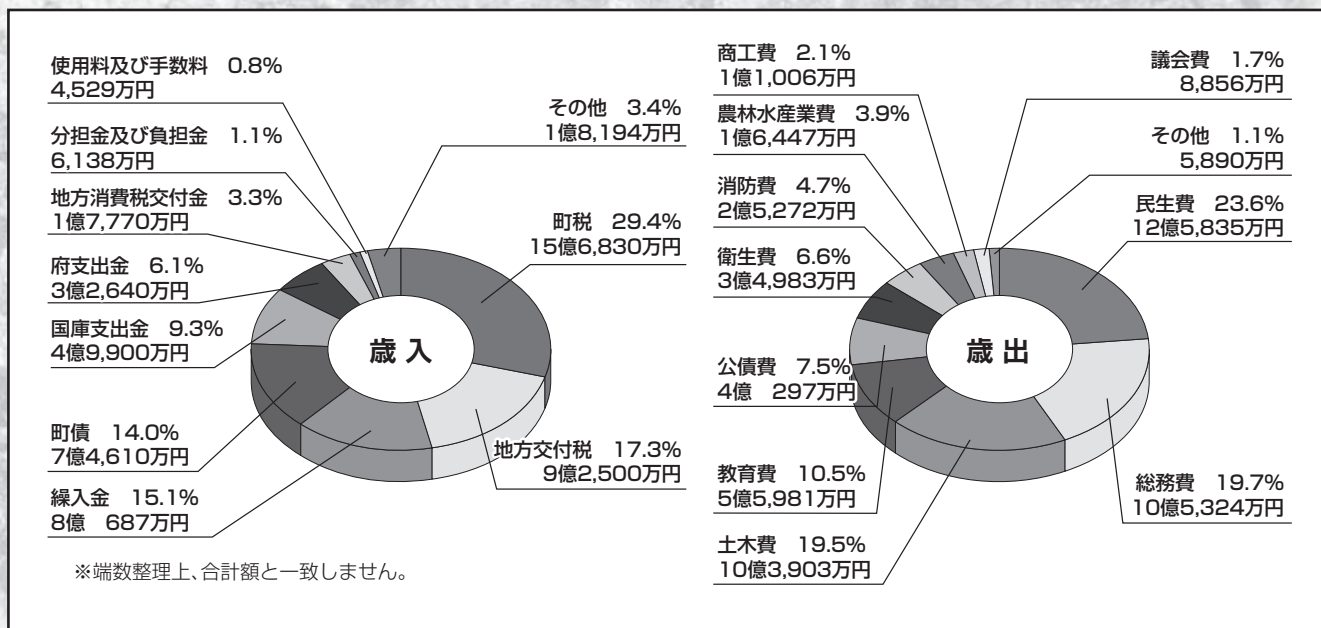
会計別の予算

(千円以下切捨て)

会計名	予算額	前年度比 (%)
一般会計	53億3,800万円	+15.2
国民健康保険特別会計	11億371万円	△18.0
後期高齢者医療特別会計	1億1,090万円	+9.3
介護保険特別会計	8億538万円	+7.6
公共下水道事業特別会計	6億9,558万円	+3.3
水道事業会計	4億8,433万円	△11.4
総額	85億3,792万円	+6.0

一般会計

(千円以下切捨て)



未来へはばたく 宇治田原創造予算

町政推進における「最重要三本柱」

新庁舎建設事業の推進(拠点づくり)



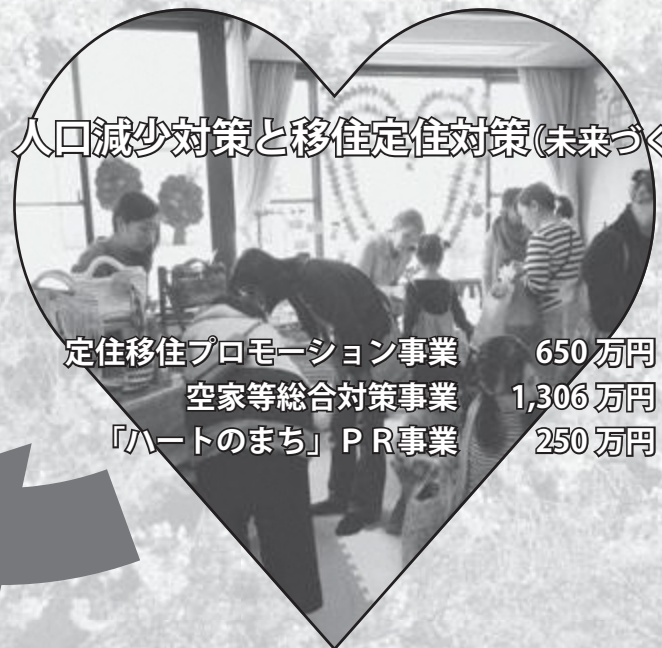
新庁舎建設事業	4億327万円
新市街地都市公園整備事業	1億100万円

宇治田原山手線整備(みちづくり)



宇治田原山手線整備事業	1億6,901万円
新市街地連絡道路整備事業	2億6,634万円

人口減少対策と移住定住対策(未来づくり)



定住移住プロモーション事業	650万円
空家等総合対策事業	1,306万円
「ハートのまち」PR事業	250万円

予算特別委員会

定例会

予算特別委員会では、委員長に浅田晃弘議員、副委員長に藤本英樹議員を新たに選任し、平成30年度当初予算及び平成29年度補正予算並びに予算に関する条例に対する審査を行った。

当初予算

総括質疑

い声もいただいたが、周知徹底、特に町民への浸透不足が反省点と感じている。

問 「うぐいす宇治田原幼稚園」の将来にわたる安定的存続のため、今後の対応をどう考えているのか。

答 これまでから町単独の奨励費補助費の支給をはじめ、検診費用の助成、共同調理場からの給食の提供などの取り組みを行っていている。引き続き、意見交換を行う中で検討していく。

問 「日本緑茶発祥の地」という唯一無二のブランド価値を発信することができ、効果があると考えている。また、観光周遊バスとも連携し、歴史、観光、健康などの多面的な角度から楽しめる「お茶の香り街道」構築に繋がっていく。

問 建設事業部に担当部長を配置するなど適切に対応していく。

問 家康伊賀越えの道整備について、歴史散策や健康づくり散策など観光資源のみならず、多面的な活用が期待できる「茶の香り街道」構想をどう考えているのか。

問 農業施策の充実について、ホームシェア移住支援事業、青年就農給付金等様々な制度を総合的に繋ぎ合わせることで大

事であると考えるが、様々な取り組みの情報を発信するとともに、地域の受け入れ態勢の整備を図ることが重要と考えている。

問 住民の健康を守る施策の充実について、住民の健康づくりに特化した仕事をしてもらって「保健指導員」を養成してはどうか。

答 まち全体で健康長寿を目指す取り組みを展開



西山山集茶園展望台



奥山田化石ふれあい広場

一般会計

問 健康づくり応援ポイントキャンペーン事業の啓発イベント「宇治田原ウォーク8800」で歩く習慣が、住民に定着すれば良いと思うが、1回

問 イベントは1回の開催となるが、その後コースを利用していただくことにより、ポイントを付与するなど習慣付けできるように工夫していく。

問 健康づくり応援ポイントキャンペーン事業の啓発イベント「宇治田原ウォーク8800」で歩く習慣が、住民に定着すれば良いと思うが、1回

問 イベントは1回の開催となるが、その後コースを利用していただくことにより、ポイントを付与するなど習慣付けできるように工夫していく。

問 健康づくり応援ポイントキャンペーン事業の啓発イベント「宇治田原ウォーク8800」で歩く習慣が、住民に定着すれば良いと思うが、1回

問 イベントは1回の開催となるが、その後コースを利用していただくことにより、ポイントを付与するなど習慣付けできるように工夫していく。

問 健康づくり応援ポイントキャンペーン事業の啓発イベント「宇治田原ウォーク8800」で歩く習慣が、住民に定着すれば良いと思うが、1回

○ 西ノ山集団茶園のハートの展望台をはじめとする施設整備の完成形、完成時期については。

○ 新名神が平成35年に開通し、インターチェンジから近い絶好の場所であり、眺望を楽しんでいただく、またお茶を楽しんでいただくとともに食を楽しんでいただくイメージを描いている。

○ 奥山田化石ふれあい広場交流施設について、水はけの悪いグラウンドの改修予定はあるのか。

○ 水はけが悪いということ把握しており、平成30年度の公園工事において表層の土の入れ替えと、碎石の引きならし、芝生の張り付けなど検討している。

○ 一般会計当初案について修正案が提出されたが、賛成少数により否決。

国保会計

○ 特定健康診査等実施事業について、特定保健指導を受けた方の次年度の結果の分析が必要であると思うが。

○ システム等によりどういった分析ができるのか確認の上、把握に努めていきたい。

後期高齢者医療会計

○ 保険料が上がる理由として、制度の改正に伴う軽減措置の縮小とわわれているが、特例軽減はどうなっているのか。

○ 被扶養者であった方の軽減措置については、9割軽減が平成29年度以降、7割軽減となり保険料が3倍になっている。

介護保険会計

○ 元気はつらつ若返り塾について、地域によっては人数が減ってきていると聞くが。

○ 各地域同一の事業を実施している。人数が減ってきている地域については、送迎等の対応を強化していきたい。

下水道事業会計

○ 下水道普及率について、100%を目標に平成29年度見込み82.2%とのことであるが、水洗化率は何%なのか。

○ 現時点で79.6%である。

条例

国民健康保険税条例の一部改正(議案第17号)

○ 介護分については、府が示した保険税率をそのまま採用したということであるが、全世帯の保

険料が上がらないよう工夫すべきだ。

○ 応分の負担を求める必要があることをご理解いただきたい。

介護保険条例の一部改正(議案第20号)

○ 「文書提出等の命令に応じない場合に過料を科せられる」とあるが、過去に過料を科したことはあったのか。

○ 発生していないと把握している。

平成29年度補正予算

○ 大福茶園再造成事業について、入植者は何名いるのか。また、その入植者に対して事業が遅れる旨の説明はできているのか。

○ 入植者は6名で、受益者の方々へ説明し、1

国保会計

○ 国保運営会計繰入金について、1,000万円計上されているが、累積赤字は解消されるのか。また、基金残高はどうなるのか。

○ 今年度給付の伸びが比較的落ち着いていることから赤字が解消できるものと見込んでいる。また、基金残高については、今現在1,000万円の基金があるが、繰入することによりゼロになる。

議案第7号 平成30年度一般会計予算に対する修正案

「5,338,000千円」を「4,605,382千円」に改める。
提案理由
新庁舎建設に係る予算とそれに関係する道路整備などの予算を削減するもの。

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦同意

高田 美智子 氏 (岩山)

任期

平成30年7月1日

～平成33年6月30日

総務建設常任委員会

宇治田原町有林管理
条例の一部改正
(議案第26号)

問 「年に1回町有林を

視察する」から「必要に

応じて視察する」に改正

されているが、年に1回

も視察しないのか。

答 全くしない年もあれ

ば、年に2回視察するこ

ともあるなど、必要に応

じ開催する。

問 委員会は町長が諮問

し開催されるのか。

答 町有林の管理運営に

関する主要な案件が生じ

た場合には、町長が諮問

し、委員会において審議

した結果を町長に具申し

ただく。

指定管理者の指定

について

(議案第28・35号)

問 宇治田原町奥山田ふ

れあい交流館について、

現在どのような活動をし

ているのか。



奥山田ふれあい交流館

問 平成28年度の利用

人数は173件、2、

016名。

平成27年度から概ね

170～190件で推移

している。利用者のほと

んどは、地域の奥山田考

房や老人会となってい

る。他にもサマースクー

ルなど町内の子供たちが

利用している。

問 林業センターについ

て、建築されて何年経過

しているのか。また、雨

漏りもあるようである

が、改修工事の考えはな

いのか。

答 昭和55年に建築され

38年経過している。

指定管理者から雨漏り

についての報告はない。

文教厚生常任委員会

国民健康保険条例
の一部改正
(議案第19号)

問 国民健康保険の運営

責任が京都府に移ること

で、事務の効率化は図ら

れるのか。町の国保財政

の安定化につながるの

か。

答 事務の効率化につい

ては、現状、事務量的に

変わらない。国保財政の

安定化については、府が

納付金の徴収や標準保険

料率を設定し、運営して

いくということになり、
安定化が図られていくも
のと考えている。

介護予防支援等の
基準を定める条例
の一部改正
(議案第23号)

問 本町では地域包括支

援センターが対象になる

が、ケアマネへの周知は

どのようにするのか。

答 地域ケア会議を開催

し、来年度の法改正など

の勉強会を実施する中

で、周知する。



保険証

一般会計予算(議案第7号)

反対討論

山本精議員

大企業は空前の内部留保をため込む一方で、各世代での貧困が大きな問題となっている。地元商店や農林業の人からは、経営がたいへん厳しいという声が聞こえる。町民の暮らしや経営を全力で応援することが町のなすべきことであり、強引に新庁舎を中心とした大型予算を執行することは、将来に禍根を残すことになる。今一度、立ち止まって住民の声を真摯に聞き、真に住民目線で対話を重視し、町政を進めるといふ姿勢に改めるべきである。

賛成討論

山内実貴子議員

西谷町長は、30年、50年先に住んでいただく方々、町内外の誰からも「好きやねんうじたわら」と言っていただけのまちづくりをみんなの絆で創り上げようと全力を尽くしてこられた。前年比15・2%増の過去最大となる積極予算は高く評価する。財政は楽観視できないが、活力ある未来への投資、今手を打つべき。住民の皆様には、不安払拭に向けた丁寧な説明と、理解を求める更なる努力、またPRや周知に努めるよう申し添え、賛成とする。

定例会



予算特別委員会

反対討論

国民健康保険特別会計予算(第8号)

今西久美子議員

国民健康保険制度が都道府県化された。一人当たりの保険税は下がったが、低所得者が値上げとなった。今後、激変緩和措置がなくなれば、保険税はあがる。国のねらいは国民負担を増やし、重点化・効率化で医療費を抑えること。都道府県化に反対の立場から、反対。

反対討論

後期高齢者医療特別会計予算(第9号)

今西久美子議員

改定のために保険料が上がる。今回は特例措置が見直され、軽減を受けている低年金の方への影響は深刻。75才以上の人だけを切り離して別勘定にし、医療費が増えれば増えるほど負担が増えるしくみで高齢者に負担増を強いる制度に反対。

意見書(第1号)

森友学園問題等の真相究明を求める意見書(案)

学校法人「森友学園」への国有地売却をめぐる、財務省近畿財務局の決裁文書が、改ざんされていた事実が判明した。これらの改ざんは、国会や国民を愚弄し、行政の信頼を根底から損なうこととなった。

森友学園疑惑は、国民の共有財産である国有地の利用や国の権限、税金支出などが首相とその周辺によって歪められたという国政私物化の疑惑であり、説明が尽くされないまま幕引き、疑惑が放置されるなどということは絶対に許されず、安倍内閣の責任は重大である。しかし、国民の批判の高まりや野党の追及にもかかわらず、関係者の証人喚問は一部にとどまり、真相究明にはほど遠い状況となっている。

国におかれては、森友学園への国有地売却をめぐる決裁文書の改ざんをはじめ、森友学園問題等の真相の徹底究明に誠実に取り組むよう強く要望する。

賛成討論

山本精議員

意見書は、国民の共有財産である国有地の利用や国の権限、税金支出などが安倍総理とその周辺によって歪められたという国政私物化の疑惑であり、党派を超えて真相の究明を求める必要があることは町民の要求でもある。

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	谷口重	松本	垣内	馬場	浅田	原田	山本	藤本	山内	今西	谷口整
条例制定・改正	議案第18号	後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律の改正に伴う、条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第19号	国民健康保険条例の一部を改正する条例を制定するについて (法施行令の改正に伴う、条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
	議案第20号	介護保険条例の一部を改正する条例を制定するについて (介護保険事業計画及び法施行令の改正に伴う、条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第21号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律の改正に伴う、条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第22号	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律の改正に伴う、条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第23号	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律の改正に伴う、条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第24号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律の改正に伴う、条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第25号	都市公園等の設置の基準に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律の改正に伴う、条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第26号	町有林管理条例の一部を改正する条例を制定するについて (組織構成及び任務内容の改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第27号	放課後児童健全育成施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (施設の新築移転に伴う設置場所の変更)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第28号～第37号	指定管理者の指定について (宇治田原町奥山田ふれあい交流館) (宇治田原町老人福祉センターやすらぎ荘) (銘城台自然公園) (銘城台児童公園) (緑苑坂てんじんやま公園) (緑苑坂にし公園) (緑苑坂なか公園) (宇治田原町林業センター) (森林総合利用施設(末山及びくつわ池自然公園)) (宇治田原町商工センター)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第38号	町営土地改良事業(平成29年災害復旧事業)の実施について (台風被害による災害復旧工事の実施)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議決のあらましと表決結果

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	谷口重	松本	垣内	馬場	浅田	原田	山本	藤本	山内	今西	谷口整
人事	議案第39号	人権擁護委員候補者の推薦について(高田美智子氏の再推薦)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	意見書第1号	森友学園問題等の真相究明を求める意見書(案)(地方自治法第99条の規定による意見書の提出)	✓		否決	●	▲	▲	●	●	▲	○	●	●	○	▲
平成29年度補正予算	議案第1号	一般会計(第6号)(新市街地連絡道路整備事業など)【67,705千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第2号	国民健康保険特別会計(事業勘定)(第5号)(補助金、拠出金の確定など)【48,476千円減額】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第3号	後期高齢者医療特別会計(第1号)(保険料調定額の増加など)【6,880千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第4号	介護保険特別会計(第4号)(保険給付費、事業費の決算見込みなど)【保険38,574千円、サービス968千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第5号	公共下水道事業特別会計(第4号)(各種事業の決算見込みなど)【56,462千円減額】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第6号	水道事業特別会計(第3号)(決算見込み)【収益収入3,968千円追加 支出2,182千円減額】 【資本支出9,234千円減額】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度当初予算	議案第7号	一般会計【5,338,000千円 前年対比15.2%増】	✓	✓	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
	議案第8号	国民健康保険特別会計(事業勘定)【1,103,719千円 前年対比18.0%減】		✓	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
	議案第9号	後期高齢者医療特別会計【110,907千円 前年対比9.3%増】		✓	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
	議案第10号	介護保険特別会計【805,380千円 前年対比7.6%増】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第11号	公共下水道事業特別会計【695,589千円 前年対比3.3%増】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第12号	水道事業会計【484,332千円 前年対比11.4%減】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例制定・改正	議案第13号	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例を制定するについて(法律の改正に伴う、条例制定)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第14号	お茶の京都交流拠点施設の設置及び管理に関する条例を制定するについて(湯屋谷茶工場改修に伴う、設置管理条例制定)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第15号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(議会運営委員会委員長の報酬額改定)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第16号	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を制定するについて(政令の改正に伴う、条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第17号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例を制定するについて(国民健康保険税の税率等の改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●

表決結果

一般質問

ズバリ! 町政を問う

3月8日・9日



一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

	質問者	質問事項
1	山内実貴子	1. みんなの TOKYO オリンピックの取り組み 2. 健康対策 3. 防災対策
2	垣内秋弘	1. 新市街地の開発について 2. 国民健康保険の広域化について 3. 情報機器と教育のあり方について 4. 町長の政治姿勢について
3	谷口 整	1. 給食の町内産米使用について 2. 財政状況について 3. 自転車保険加入補助について ●町長の政治姿勢について
4	今西久美子	1. 財政問題について 2. 新庁舎について 3. 学校給食費の無料化について 4. 移送サービスについて

	質問者	質問事項
5	谷口重和	1. 公共交通 2. 学校教育 3. 農業施策 ●公共施設 ●宇治田原の文化財
6	藤本英樹	1. 小中一貫教育について 2. 防災力の向上について
7	浅田晃弘	1. 安心安全の取り組みについて 2. お茶の交流拠点について
8	松本健治	1. 政治姿勢(施政方針)について 2. 障がい者福祉の推進について 3. 高尾地区の元気対策について
9	原田周一	1. 財政問題 2. キッズ防火隊について
10	山本 精	1. 交通安全対策について 2. 防災対策について
11	馬場 哉	1. 財政状況について

●印の質問情報は本誌には掲載されていません。

傍聴のご案内

宇治田原町議会の本会議を傍聴しませんか。傍聴券は本会議当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>)をご覧ください。議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。

メダルプロジェクト周知を

【答】小中学校へも呼びかけ理解促進へ

【質問】

2020年東京オリンピック・パラリンピックへの取り組みで、小型家電回収でのみんなのメダルプロジェクトがある。

中。今後は小中学校へも呼びかけ、メダルプロジェクトへの理解を促進したい。

【質問】

国内でのオリンピック・パラリンピックは、子ども達への身近で貴重な体験となる。関われる取り組み、町内での行事ボックスを利用し、参加

保険者努力支援制度の取り組みは 【答】重症化予防について取り組み検討

【質問】

平成30年度からの予算配分拡充でウエイトを占める、保険者努力支援制度。加点の高い糖尿病重症化予防の取り組みは。

【質問】

特定健診や人間ドックの受診率向上へ、問診票

【答弁(介護医療課長)】

本町の医療費に占める糖尿病の割合は高く、医療費適正化からも糖尿病重症化予防の取り組みは重要。かかりつけ医との

【答弁(介護医療課長)】

のぼり旗による啓発、



山内実貴子
議員



健診を受けましょう
(啓発のぼり旗)

医療機関へのポスター掲示等、更に受診率向上に向け周知を図る。前回の健診結果記載は、実施可能か検討する。

災害用自販機に電光掲示板を 【答】教育委員会と協議、運用会社へ要望

【質問】

電光掲示板設置タイプの自動販売機のある総合

【答弁(総務課長)】

の、災害用飲料水自動販売機は、一斉に情報を流すことのできるものとして有効で、情報発信の場ともなる。設置の考えは、文化センターや住民体育館の施設・備品を管理する教育委員会と協議する。運用会社にも要望し、入れ替え等検討する。



メダル作りに参加を
(小型家電回収ボックス)

新市街地開発と河川整備をセットで

【答】住民の安心安全が何よりも優先

【質問】

新市街地における企業誘致計画の現状と今後の見通しは。

【答弁(プロジェクト推進課長)】

本町で現在操業の須河車体(株)が新社屋の移転建設を計画されている。規模は約7.3haの予定。

【質問】

開発に当たっては調整池が義務付けられ糠塚川

への放流が課題であるが、具体案と地元への説明は。

【答弁(プロジェクト推進課長)】

放流経路及び治水対策は京都府と協議中である。地元説明会も実施する。

【質問】

平成30年度から財政運営の主体が京都府となり、広域化されるが、今後の保険税への影響は。

【答弁(介護医療課長)】

6年間は激変緩和措置があり、以降も保険税に大きな変動がないよう国保財政の強化を図る。

情報機器の普及で教育への影響は

【答】非行防止の危険性について指導

【質問】

携帯やスマホの急速な普及により人間関係を築

く上で多大な影響で危険性がある。有害情報を学習できる取り組みが必要。



垣内秋弘 議員

【答弁(建設環境課長)】

浚渫や維持修繕等実施していたら、河川整備は町長自ら府へ要

請している。全面改修は難しいが部分的な改修は更に強力に実施要請する。

どう変わる国民健康保険税

【答】緩和措置後も国保財政強化を図る



パソコン学習

【答弁(教育部長)】

小学校では非行防止に係わる危険性について授業で学習し、中学校では

技術の授業でパソコンに触れる中でSNSの利用方法を指導している。

重点課題の人口減少対策は

【答】まちづくり戦略を積極的に推進

【質問】

町長は平成30年度において3本柱を重点施策に掲げ過去最大の予算を編成され、山手線、新庁舎に継ぐ人口減少対策を推し進めているが、現状での成果・課題と評価は。

【答弁(町長)】

創生総合戦略で①若者を呼び込み、働く場を確保②元気なうじたわら子(子ども)を育む③安心で暮らしやすいまちづくりを基本目標とし「まちづくり戦略」として多くの施策を実施する。



川底が浅い糠塚川

給食に宇治田原産米の使用を

【答】町内産米活用に向け検討したい

【質問】

給食に生産者の顔が見える町内産米を使用できないか。
また、町内産米の増産は、耕作放棄水田の解消や仮称「ハートの町の

ハート米」のブランド化

でふるさと納税の返礼品活用など、ポテンシャルは高い。このことにより一石三鳥にも五鳥にもなると思うが。

【答弁(町長)】

「ハートの町のハート米」による児童・生徒への安心安全な食材を提供し、より本町の自然、食文化を身近に実感してもらうことを望んでいる。

生産体制確立には多くの課題があるが、高いポ

テンシャルを秘めた町内産米活用の実現に向け、地産地消のおいしい給食を目指し、多角的に検討していく。



谷口 整 議員

町債の借入上限額の設定を 【答】建設事業借入上限額を設定

【質問】

大型事業の執行により町債の借入額やその償還金の増加が見込まれる中、後年度負担の抑制に向けた町債借入上限額の設定の必要は。
また、償還金のピーク時の見込みは。

【答弁(町長)】

全額交付税措置される臨時財政対策債を除く町債の借入上限額を55億円と定める。償還金のピークは交付税措置分を除き、3億9千万円と見込む。今後も持続可能な財政基盤の構築に努めていく。

中学生の自転車保険加入促進を 【答】実態調査を実施し支援策を検討

【質問】

本年4月からは、自転車保険加入が義務付けられる。自転車通学を認めている中学生の保険加入は必須と考えるが、加入促進に向けた補助金の支給などの支援策を考へられないか。

【答弁(教育部長)】

中学生の通学に自転車通学を認めていることから、新学期に向け保険加入の実態調査を準備している。中学生が安心して自転車通学ができるよう実態調査の結果を踏まえ、具体的な支援策を検討する。



1年生はじめての給食



中学生の自転車通学

新市街地の計画は再考を

【答】新名神のICを活かしていく

【質問】

持続可能な宇治田原をつくるためには、企業誘致に依存するのではな

く、若い世代を応援し人口や出生率を増やす、地元企業や商店、農林業を支援し、税収を増やす方向にいくべき。大きな投資をして、結局借金返

済で住民に負担を強いられるような計画は、再考すべきでは。

【答弁(町長)】

新名神高速道路のインターチェンジを千載一遇のチャンスとして、本町の活力あるまちづくりに活かしていく。

【質問】

線確保にも配慮するなど、庁舎の役割を果たすために必要となる面積1.5haとなった。

【質問】

大規模に盛土された宅地では、周辺の土地の沈下や陥没、崩落等の心配があることを国が指摘している。建設予定地は盛土造成地であり、30mに

【答弁(プロジェクト推進課長)】

災害発生の恐れがある場合、「宅地造成等規制法」で規制区域に指定されるが、調査の結果「指定区域」ではないので該当しない。



今西久美子 議員

学校給食費の無料化を

【答】現時点では検討していない

【質問】

人口減少を食い止めるため、子育て支援の一環として、学校給食費を無料にしては。

援を行っている。給食無料化は、現時点で具体的な検討をしていない。

【答弁(副町長)】

高校生通学費補助、子育て支援医療、多子家庭応援保育料軽減など、重点的に子育て支



給食費を無料に

新庁舎の敷地面積がなぜ1.5倍に

【答】庁舎の役割を果たすために必要

【質問】

庁舎の敷地面積はずつと1haとしてきたが、パブリックコメントの資料では、1.5haになっている。面積が1.5倍になれば用

地費もそれだけかかる。1haにあうように設計すべきでは。

【答弁(プロジェクト推進課長)】

利用者の利便性や安全性を考慮し、災害時の動



大規模盛土造成地は危険では

移送サービスの条件の見直しを

【答】対象の拡大は考えていない

【質問】

現在、移送サービスの登録者は32名、実際の利用者には10名程度。高齢者だけの世帯も増える中、必要な方が利用できるよ

う、条件の見直しを。

【答弁(健康福祉部長)】

ボランティヤスタッフの体制は現行の利用数で手一杯。対象の拡大は考えていない。

宇治田原町に鉄軌道(電車)を

【答】関係自治体と活動を進めていく

【質問】

滋賀県では「びわこ京

阪奈線」、また京都府では

「京都南部横断鉄道新線

研究会」がある。北陸新

幹線も京都南部ルートが

決定された。今こそが本

町にとっては重要なポイ

ント・グッドチャンスで

ある。鉄軌道こそが本町

にとつての最高の礎にな

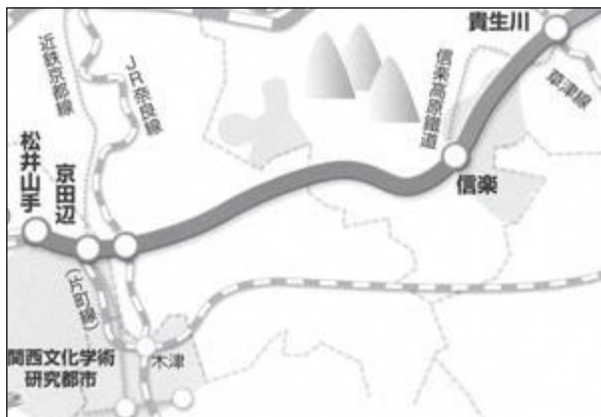
るはず。このことに対す

る考えは。

【答弁(町長)】

鉄軌道整備が実現でき

るようなまちに成長させ



びわこ京阪奈線(仮称) 鉄道建設期
成同盟会・発行パンフレットより抜粋



谷口重和
議員

【答】学校現場での判断を尊重する

小学校に2分の1成人式を

【質問】

小学4年生(10歳)に

なった時、2分の1成人

式として、10歳の加冠(カ

ミング オブ エージ

セレモニー)等を組み入

れては、責任感のある少

年に育つ素晴らしいイン

パクトになるはず。当人

たちも立派な人間に成長

してくれると思うが。

【答弁(教育部長)】

2分の1成人式は、こ

れまでの10年間を振り返

り、成人式までの10年間

に向けた自分の将来を描

くきつかけとなる有用な

事業である反面、保護者

への感謝を強要させるな

ど批判的な意見もあるた

め、学校現場での判断を

尊重すべきと考えている。

ため池管理者の知識向上を

【答】管理者の安全意識強化に取り組む

【質問】

ため池の決壊を未然に

防ぐため、管理者の体制

強化を図れば、責務に対

する認識と必要性が充実

するが。

【質問】

余水吐け掘り下げ手法

を2年前から提案してき

たが、1箇所テスト的に

実施しては。

【答弁(建設事業部長)】

池の水位を下げるなど

日常管理が非常に大切で

あり提案のテストケース

も含め、十分検討する。



対策が必要となるため池

小中一貫教育の実績は

【答】諸行事で交流を深めている



藤本英樹
議員

【質問】

小中一貫教育制度が本格的にスタートし、維孝館学園という名称のもと小学校間、小学校と中学校間で推進しているが、具体的な取り組みは、

【答弁(教育部長)】

小学校間では、修学旅行や林間学習、陸上運動交歓記録会、サンガつながり隊などを実施してきた。

小学校と中学校の交流

では、中学校の英語、中学教員の小学生への音楽指導、クラブ活動体験などを実施している。

また、全教員を対象に合同研修を開催し、交流とスキルアップを図っている。

【質問】

小学校の運動会は同日に小学校単位で開催されているが、保護者や観覧者の駐車場が手狭なことから、近隣住民に迷惑をかけている状態である。小学校間の交流の場として、住民グラウンドで共同開催することはできないか。

【答弁(教育部長)】

合同開催することは、駐車場問題を解決する上で有効な手法である。小中一貫教育、小学校間の連携・一体化の側面からも両小学校の児童が一同に会することで多くのメリットが生まれる。

【質問】

ただし、団体演技は度重なる練習により成果を発揮できるものであり、また、高学年がリーダーとして下級生を取りまとめる機会でもあり、学校単位の取り組みが重要である。共同開催するための課題を小学校の状況を確認しながら検討する。



宇治田原小学校運動会 入場行進



総合防災訓練における救援物資引き渡し

大津市と災害時相互応援協定を【答】締結に向け調整していく

【質問】

すでに締結している少し距離をおいた岐阜県池田町、兵庫県加東市と近隣他府県である滋賀県甲賀市の他に、隣接する滋賀県大津市と災害時相互応援協定を締結できないか。

【答弁(町長)】

現在、応援協定を締結している市町は、お茶を通じた縁で締結してきた。隣接している大津市とは事務レベルで調整を進めており、今後も締結に向け関係機関と協議していく。

防犯力の推進向上を

【答】安心・安全なまちづくりを推進

【質問】

本町の地域防犯については、防犯推進ネットワーク協議会や縦喜防犯

【質問】
ご尽力いただいている皆様方に大変お世話になっています。

また、小学生の登下校を見守っていたり、見守り隊等の皆様方、振込詐欺などの啓発活動に

【質問】
抑止力向上のための防犯カメラ及びドライブレコーダーの設置について、現在の状況と今後の設置計画は。

【答弁(町長)】

防犯カメラについては、地域みまもりステーション、宇治田原保育所をはじめ、(社)安全・安心まちづくり推進機構(SAPIC)との連携

【答弁(町長)】
この施設に対する私自身の思い、将来ビジョンは、今後の新名神高速道路の開通に伴う(仮称)宇治田原インターチェンジの設置など、ダイナミックな環境変化を追い風として、将来的には、この場所に来訪者がゆつくりと足を留め、茶を楽しみ、食を楽しみ、眺望を楽しんでいただけるような施設としたいと思っている。



浅田 晃 弘
議員



登下校の安全を(見守り隊)

【質問】

西ノ山集団茶園隣接展望スペースについて、今

【質問】
後、最終的に西の玄関口として、どのように整備していくのか。

【答】また来たいと思える施設に 集団茶園隣接展望スペースの今後は



西ノ山集団茶園隣接展望スペース

地域力を高める宇治田原モデルは

【答】官民協働でモデルづくりを

【質問】

湯屋谷茶工場のリノベーションで「お茶の京都交流拠点」の運営を地域住民で行われるが、「地

域力」を高める良い機会・事例になる。地域主導で

組みづくりは。

【答弁(町長)】

官民協働により、成功に導くよう期待している。「宇治田原モデル」の仕

「お茶の京都交流拠点」の運営や移住定住対策の推進に向けた地域で

の協力体制の仕組みづくり。他の取り組みも含め、未来への投資として積極的に進め、「モデルづくり」の契機としたい。



松本 健治
議員

【答】地域社会全体で支えるように 聴覚障がい者福祉の推進を

【質問】

他の市町の「手話言語条例」制定の動きを調査研究し、条例の制定も視野に、障がい者基本計画に掲げる「共生のまち宇治田原」の基本的理念・スタンスを明確にし、広報・教育研修活動など、積極的な取り組みを。

【答弁(健康福祉部長)】

府条例の考え方に基いた条例制定も視野に、「ハートのまち」らしく「誰もが、安心して生活できるまち」を目指して、啓発活動を行い、行政はもとより地域社会全体で支えることを旨として推進したい。



かくれ里高尾の「弘法の井戸」

高尾地区の元気対策を

【答】受け継がれた財産を活かす

【質問】

高尾地区の元気対策として、地域のポテンシャルを活かした観光的な視点からのイベントや名産品の「梅の木」を活かした維持管理制度など、「かくれ里」高尾にふれあい、交流する場を。地域と協働で魅力を活かした取り組みを。

【答弁(産業観光課長)】

高尾地区の魅力を活かした観光振興に取り組むことは、平成28年に発足した「観光まちづくり会議」の趣旨に添うものであり、地域住民が守り受け継いでこられた財産を、町の多様な人材がもつ知恵や経験をミックスして取り組んでいきたい。

小中一貫の建設費を考慮すれば

【答】公債費比率が上昇し約16%に



原田周一
議員

【質問】

町財政が厳しくなるとの認識はしている。財政シミュレーションでは、今後予定されている小中一貫にかかる分が考慮されていない。実質公債費比率の見直しは、平成42

年の14.5%がピークでその後減少していくとき

【答弁(副町長)】

建設後、現シミュレーションよりさらに2%程度上昇すると予測。ピークの平成42年度には約16%程度と見込む。地方債を発行するときに国の許可が必要となる実質公債費比率には達しない。

建設後、現シミュレーションよりさらに2%程度上昇すると予測。ピークの平成42年度には約16%程度と見込む。地方債を発行するときに国の許可が必要となる実質公債費比率には達しない。

【答弁(副町長)】

その危険ラインと言われている。15億円程度と言われる校舎建設を同時進行すればどうなるのか。

社会保障費等の義務的経費の増加が継続すると推察される。「未来」に向けた施策を軌道に乗せることが重要。何もしない状況で推移すれば平成38年度に基金残高が不足する。

【答弁(総務課長)】

【質問】

庁舎建設は本町の将来を見据えた事業である。周辺開発も同様で、子育て世代・その子ども世代に安心して定住促進を図るための拠点作りである。一方で5年もすると、戦後のベビーブーム世代が後期高齢者へ突入り、民生費の増加も予測

【答弁(総務課長)】

新校舎どこに建設か



平成40年をピークに、経常的に財源不足が生じる厳しい見込み。財政調整基金の枯渇する時期までに新市街地の土地利用を図り、税収増加に繋げるとともに、持続可能な財政運営を目指したいと考える。

【質問】

【質問】

キッズ防火隊は、荒木地区で発足し、その後、禅定寺・岩山・緑苑坂で結成された。隊の横の繋がりが脆弱で、活動内容に強弱があると感じるが。

【質問】

意識の習得を行う。キッズ防火隊の活動を通して大人へも防火・防災に対する意識啓発の向上につな

キッズ防火隊の連携は 【答】情報交換・情報共有で活動に生かす

【答弁(総務課長)】

【答弁(総務課長)】

防火・防災施設等の視察研修を通じて、防災知

連携も検討したい。



キッズ防火隊町外研修

大石東線の交差点に信号機を

【答】関係機関と十分協議する

【質問】

宇治田原大石東線の新
名神高速道路岩山区工
事現場付近の三叉路交差
点は工事開始以前から見

通しが悪い状況になって
いる。樹木の伐採、大型

車直進不可などの看板設
置の対策をしているが、
いつ事故が起きてもおか

しくない状況になってい
る。信号機の設置が必要

【答弁(総務課長)】

信号機の設置に関して
は、京都府公安委員会に
より、交通量、道路整備

状況等を勘案し、府下全
域で緊急度の高い順に行
われている状況である。

地域住民への影響もあ
ることから、関係機関と
十分協議する中で、慎重
に検討していく。

【質問】

町道郷之口岩山線(旧
307号)の朝夕の通勤
時間帯の交通量の多さか
ら、横断が思うようにで
きない状況にあること
は、町も認識していると



山本 精
議員

思う。ドライバーへの注
意喚起や、時速30キロ制
限の看板等対策を打って
いるが改善が見えない状
況である。今後どうい
う対策をしていくのか。

【答弁(総務課長)】

町道郷之口岩山線の安
全対策については、沿線
の区より要望を聞いてい
る。町職員が、毎月1回
実施している街頭啓発活
動により、ドライバーに
対して安全運転を呼び掛
けていく。今後も宇治田
原町交通対策協議会や綴
喜交通安全協会宇治田原
支部の皆さんと連携する
なかで、啓発活動を進め
ていく。

業務継続計画の策定は

【答】最終調整を行っている

【質問】

災害時に行政みずから
も被災したとき、業務の

執行体制や対応手順、継
続に必要な資源の確保等

をあらかじめ定める計画
を策定するため、内閣府

の防災担当が、市町村の
ための業務継続計画作成
ガイドを策定し、地方公

共同体の業務継続計画の
策定促進を図っている。

本町の取り組みは。

【答弁(総務課長)】

業務継続計画の策定に
ついては、現在、役場庁
舎内関係各課の意見も聴
取するなか、策定に向け、
最終調整を行っている。



両方向が見にくい交差点



庁舎被災時、代替になる総合文化センター

財政について課題は

【答】持続可能な財政運営を図る

【質問】

財政シミュレーション

では、平成38年度財源不足の見込みになっている。赤字国債の発行が認められていない自治体では、予算が組めない状況にな

るのでは。

【答弁(企画財政課長)】

地方公共団体においては赤字国債を発行することができないことから、歳入と歳出の均衡を図る規模での予算編成になる。

【質問】

住民生活に影響がある

ようではないけない。従前より町は、新市街地の開発等により町税の増加が見込めると説明している。税収増と交付税減の見込みをシミュレーションに落とし込み示すべき

【問】今後、財政計画策定は

【答】ローリング方式により見直す

【質問】

住民の財政に対する関心は高い。中長期に公債費償還金が増えるシミュレーションだけでなく、将来の税収増や行政改革の成果も反映した財政計画を策定しては。

【質問】

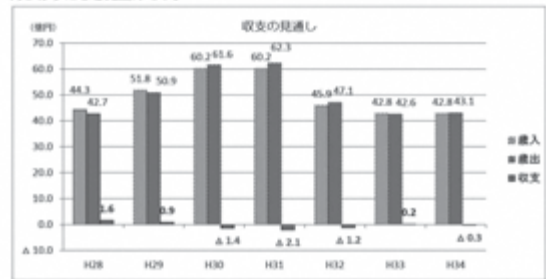
本町は、移住定住対策を推進していかねければならない。今後、投資により財政状況は増々厳しくなるが、住民サービスを下りさせることのないようにすべき。

【答弁(企画財政課長)】

計画の実施においては、住民の皆さまに納得いただけるような内容としていきたいと考えている。財政調整基金を枯渇させることなく、持続可能な財政基盤の構築を図っていく。

③ 収支の見直し

- 歳入と歳出の見込みを差し引きすると、平成30年度以降も財源不足が続くことが見込まれます。
- 収支の赤字額は、新庁舎建設等の大型事業がほぼ終了する平成33年度に一時回復するものの、それに伴う起債の取組期間が終了し、元金の償還がはじまる平成34年度以降は再び赤字になる見込みです。



宇治田原町の財政状況

予測が困難な部分があるが、シミュレーションに反映していく。

行政改革大綱は、現時点で可能な具体策を述べている。この取り組みにより財源を捻出していく。

財政調整基金も、災害対応時等で、本町の規模による適正水準があるのでは。



馬場 哉 議員



移住定住パンフレット「ちかיים」

第1回 住民と議会の懇談会 開催



はじめての試みで「ワールドカフェ方式」による「住民と議会の懇談会」を2月12日に総合文化センターにおいて開催した。今回は町消防団、町商工会、区長会、生産森林組合、社会福祉協議会、PTA、老人クラブの23名の皆さんに参加していただいた。

第1部

議会活性化の取り組み等について報告。

主な取組内容

- 委員会付託制度の導入
- 特別委員会の設置
- 傍聴制度の改善
- 一般質問の見直し

住民と議会の懇談会アンケート 懇談会の満足度について (男性・16名)

	良い	←	普通	→	悪い
40代		3	2		
50代	1		1		
60代			3		
70代	1	4			
計	2	7	6	0	0

(女性・7名)

	良い	←	普通	→	悪い
40代	1	1	1		
50代		1			
60代	2				
70代			1		
計	3	2	2	0	0

主な意見

「懇談会について」

- 幅広い意見を求めるならば年代をランダムに。
- 回数を増やし、良い所をつなぐように。
- 子育て世代が少ないのはどうなのか。
- 今までにないワールドカフェに参加してよかった。
- 継続してほしい。
- 疑問を持っていたが、参加できてよかった。

「議会活動全般について」

- 住民の声を聞き、住み良い町づくりをしてほしい。
- もっと問題の数を絞って熱い討論会にしたほうが本当に問題点に近づく。
- 一般質問についてももっともっと広い視点で行ってほしい。

○議会報告会の開催

○意見交換会の開催など

また、全体にマンネリ化してきた「議会報告会」

を見直し、オープンで自由な会話を通して、新たな発想やいきいきとした意見交換ができるように

「住民の皆様の意見を聴く会」、「住民の皆様と一緒に考える会」にしたい

きたいとの思いで、「ワールドカフェ方式」による「住民と議会の懇談会」を行なうことにした。

第2部

ワールドカフェ方式の

説明を行い、6つのテーブルに議員が1人ホスト

になって5人の班編成で、「人口を増やすために」をテーマとして意見交換を行った。

その後、各班で意見をまとめられ発表された。主な意見として、以下の内容があった。

【本町の魅力・課題】
○高校生の交通費無料化
○安心して遊べる環境

○空気が美味しい

○野菜が安い

○交通が不便

○農業の後継者不足

○大学生の交通費補助

○工業団地やリゾート施設などの誘致を

○SNSの活用で、本町の魅力発信を

アンケートを含む懇談会でのご意見は、今後の議会活動に生かしたいと考えています。

ご参加の皆さんありがとうございました。

ないとう まりこ
内藤 真理子 さん



このたび地域おこし協力隊として、平成30年2月、宇治田原町に着任された内藤真理子さんにインタビューしました。

**Q. 出身地はどこですか
宇治田原町に来られる前は何を
しておられたのですか**

A. 出身は徳島市です。大学は東京でしたが、フランスに留学もしました。卒業後は、子供服メーカーで働いていましたが、その後国際交流基金のプログラムでベトナムに行き、日本語を教えたりもしました。

Q. 町の印象はいかがですか

A. 宇治田原はお茶がおいしくて、どこに行っても淹れてくださり、優しい人が多く、関西人なのでおしゃべりが面白いなと思っています。また、お茶はコミュニケーションの手段だと考えています。

**Q. 地域おこし協力隊になられた
きっかけは**

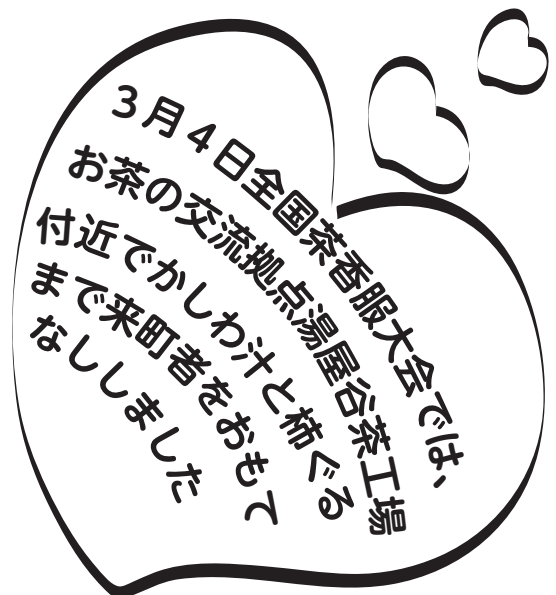
A. 何年前に地域おこし協力隊のドラマを見て、関心を持ちました。インターネットで宇治田原町が募集しておられるのを見つけ、前からお茶に関心があったのと、茶工場に魅力を感じ応募しました。

**Q. 何をメインに地域おこしを考え
ておられますか**

A. 宇治田原の美味しいお茶を海外に広めたり、町外から来られる人においしいお茶を知ってもらいたいと思います。また、観光客が増えるように情報発信などを通してアプローチできればと思っています。



リニューアルされた湯屋谷茶工場



3月4日全国茶香服大会では、お茶の交流拠点湯屋谷茶工場付近でかしわ汁と柿の葉まで来町者をおもてなしました



保育所 入所式



立川出身の近江高校 茨木選手(右端)甲子園出場



次回議会の予定
〈6月定例会〉

6月7日(木)開会日

詳しい予定はHPにて
お知らせします。



さくら福祉まつり

編集
後記

野山も生えわたり新緑の季節となりました。

本町の基幹産業でありますお茶の生産も始まります。「お茶の京都」で育んだ緑茶発祥地としての位置づけを更に向上することを祈っています。

さて、3月定例会では本町の諸課題を克服すべく、将来への投資的事業をより確固たるものに構築するため、過去最大となる平成30年度当初予算をはじめ多くの議案を審議し、すべての案件を議了いたしました。また、一般質問には過去に例のない議長を除く全議員がたち、活発な議論を展開しました。町議会といたしましても一層精進いたします所存であります。皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。

広報編集委員 垣内